

モダナイゼーションを圧倒的に加速する
富士通の生成AI活用のご紹介

Fujitsu AIドリブンモダナイゼーションサービス

2026年7月

富士通株式会社

Agenda

1. AIを活用したモダナイゼーション
2. サービス概要
3. AIドリブンモダナイゼーション適用に向けたイニシャル商材
4. Appendix

1. AIを活用したモダナイゼーション

AIがモダナイゼーションにもたらすインパクト

AIはモダナイゼーション高度化に劇的な変化をもたらす

AIが実行する モダナイゼーションプロセス

要件定義・仕様設計

業務フロー/要件の自動生成

レガシー資産自動解析

レガシーコード解析・分析・資産復元

ソースコード自動変換

COBOL→Java / C# 、SQLチューニング

運用・保守の自動化

自動メンテ・障害検知・インシデント管理

↑
AI実装の成熟度・難易度

AIが実行できない（＝人が実行する） モダナイゼーションプロセス

業務分析と定義

業務戦略立案/経営意思整合

リスク抽出と判断

優先度付け・PJ停止判断

ハルシネーション抑止

誤仕様・誤解釈・バイアス修正

暗黙知の解釈・言語化

仕様書外の運用ルール・障害独自回避策

ただし人が実行する作業も残る。AIと人の共生・共創が重要

AIのモダナイゼーション利用におけるリスク

PoCから本番利用フェーズへ、課題とリスクが顕在化



データ／セキュリティリスク

- ・機密情報・個人情報の外部流出
- ・プロンプトインジェクションやサイバー攻撃
- ・シャドーAIによるガバナンス統制問題



ガバナンスリスク

- ・ベンダーロックイン
- ・データ分散
- ・新たなコンプライアンス対応



品質リスク

- ・ハルシネーション（誤仕様・誤コード生成）
- ・現行設計・ドキュメント誤解釈
- ・バイアス出力



技術的負債

- ・人材スキル劣化
- ・ブラックボックス化再発
- ・長期保守困難（新レガシー化）



コストリスク

- ・トークン課金料・GPU利用料などAI利用コスト
- ・ハルシネーション/後工程手戻り/品質修正コスト
- ・ガバナンス整備、セキュリティ対応、教育コスト



適用AIサービス評価リスク

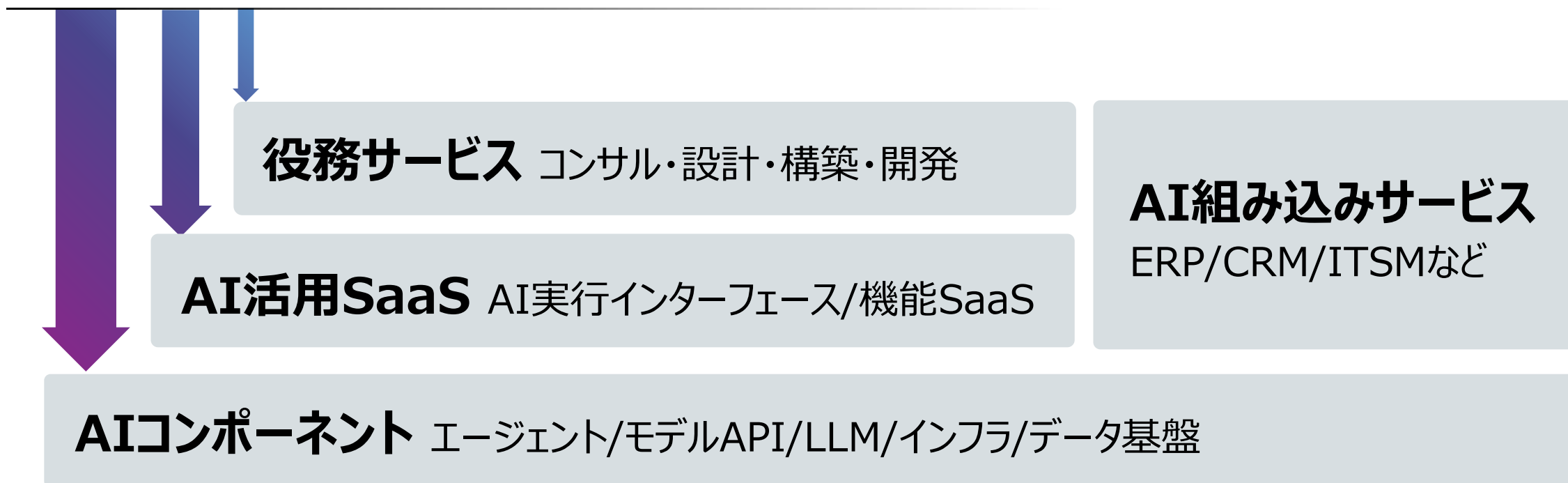
- ・サービスレイヤー整理/新技術捕捉困難
- ・ベンダー責任範囲の見誤り
- ・ベンダーからのネガティブポイント未共有

AIの利便性追求と併せ、新たなリスク対応力も求められる

モダナイゼーション領域におけるAIサービス

各社こぞってAIサービスをリリース、カオスマップも多数

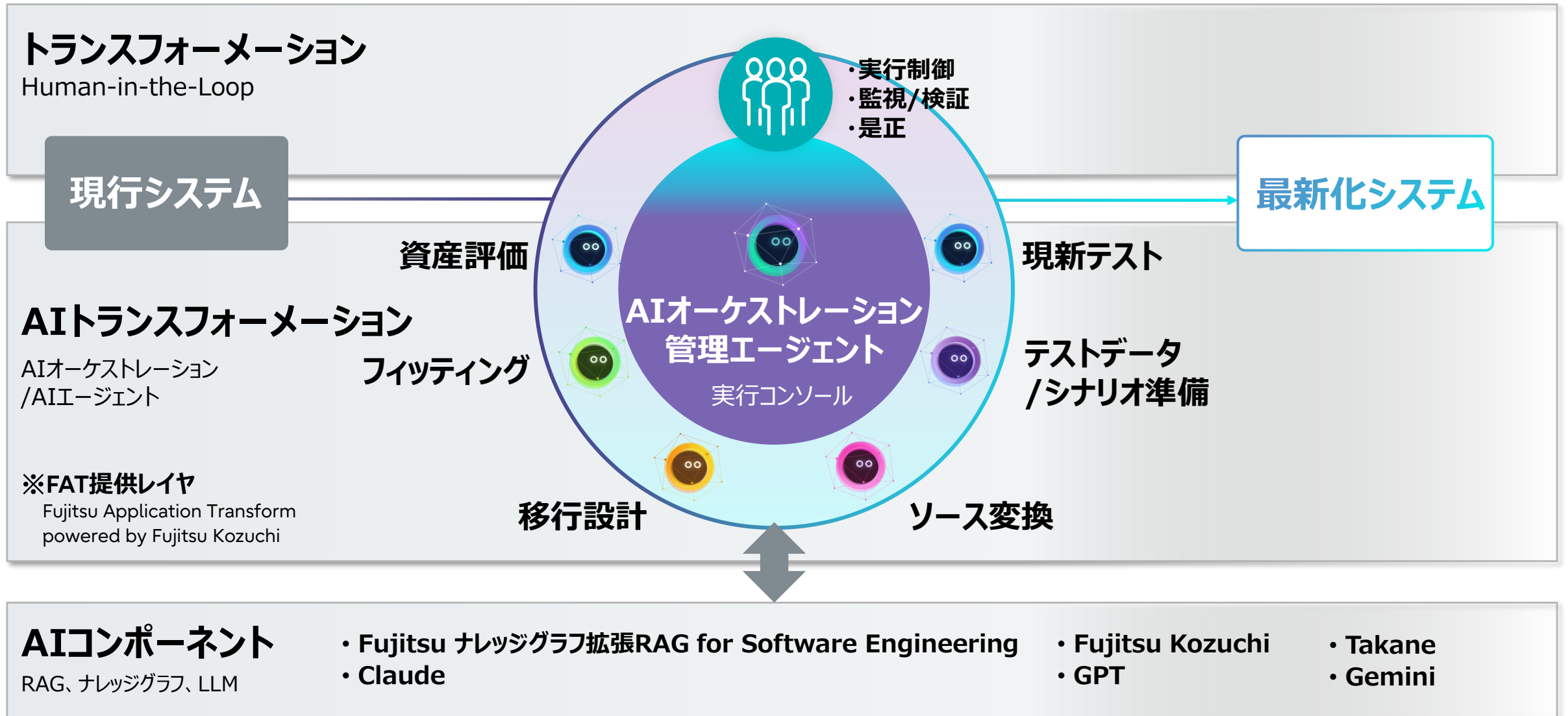
 利用企業様・パートナー企業様



レイヤ別に提供機能を吟味、特に自社タスクの確認が重要

2. サービス概要

AIドリブンモダナイゼーションとは



最先端AIと富士通の実践知・専門人材を組み合わせた役務サービスを起点に
モダナイゼーションの高度化とスピード化を実現、自走化基盤を同時に提供



モダナイゼーションの自動化

-品質とスピードを同時に最大化-



マルチAI型モダナイゼーション

-最先端AIを最適編成-



ナレッジ型モダナイゼーション

-AIが当社数千規模のプロジェクト知見を学習-



自走化サービス基盤 (順次提供)

お客様自身でのAI活用を支援

モダナイゼーションの高度化/工期短縮を実現



①モダナイゼーションの自動化

特長

各工程を自動化・制御し、品質とスピードを同時に最大化

- モダナイ対象資産を横断で分析し「AI-Ready」データとして一元化
- AIEージェントによる工程オーケストレーションを実現

優位性

高速かつ確実にモダナイゼーションを実現する実行モデル

- ハーネスエンジニアリング & ループエンジニアリングによる大規模かつ効率的な変換
- 単純機械変換でなく、オブジェクト指向型Pure Java移行を実現
- AIEエージェントが一定のアウトプット品質を判断、人間による精査/判断を極小化

お客様価値

品質の一貫性の確保とリスク抑制を両立しながら、
大規模・複雑なモダナイゼーションの工期を約40%短縮します。



②マルチAI型モダナイゼーション

特長

最先端AIを最適編成し、ベストな実行基盤を提供

- マルチAI統合基盤（Fujitsu Kozuchi）※7月リリース時点では対象外
- モダナマイスターによるAI実行設計

優位性

AIとの連携により最適化された実行型マルチAI基盤

- AIと現場エンジニアが連携し、高品質かつ効率的なモダナイゼーションを実現
- プロジェクト特性に応じて最適なAIを活用し、品質と生産性を最大化
- AIの選定・運用負荷は富士通が担い、お客様は変革推進に集中可能

お客様価値

お客様は進化するAIテクノロジーのキャッチアップと選択から解放され、モダナイゼーションやDX推進に集中できます。



③ナレッジ型モダナイゼーション

特長

AIが当社数千規模のプロジェクト知見を学習

- 数千のプロジェクト実績をベースとしたAIエージェント
- 継続学習による知見の高度化

優位性

モダナイゼーション成功の再現性・信頼性を高めるナレッジ活用モデル

- 属人依存を排除し、安定した品質で再現性の高いモダナイゼーションを実現
- エンジニアのリソースやスキルセットの制約に依存しない構造
- 富士通が蓄積した豊富な知見を活用し、日本発の高品質モダナイゼーションを実現

お客様価値

ナレッジエンジニアの確保が課題になりかねなかったモダナイゼーションを、場所と時間を意識せず、再現性・信頼性・確実性に優れた日本発のモダナイ実現を戦略的に推進します。



④ 自走化サービス基盤 (順次提供)

特長

お客様自身のAI活用を支援する自走化サービス基盤※

- 実践ノウハウをSaaS型サービスとして提供
- AI基盤に求められる機能を段階的に展開

※モダナイAI基盤第一号として、設計書自動生成サービス「Fujitsu Application Transform powered by Fujitsu Kozuchi」の提供を開始（2026年3月30日）

優位性

継続的に価値を生み続けるIT基盤への転換

- 知見や資産を継続活用し、お客様自身が主体となる継続的な改善サイクルを実現
- ベンダー依存を低減、内製化による経営の柔軟性と変革推進力を向上
- 市場変化に迅速に対応したIT基盤の活用により、継続的な企業価値向上を実現

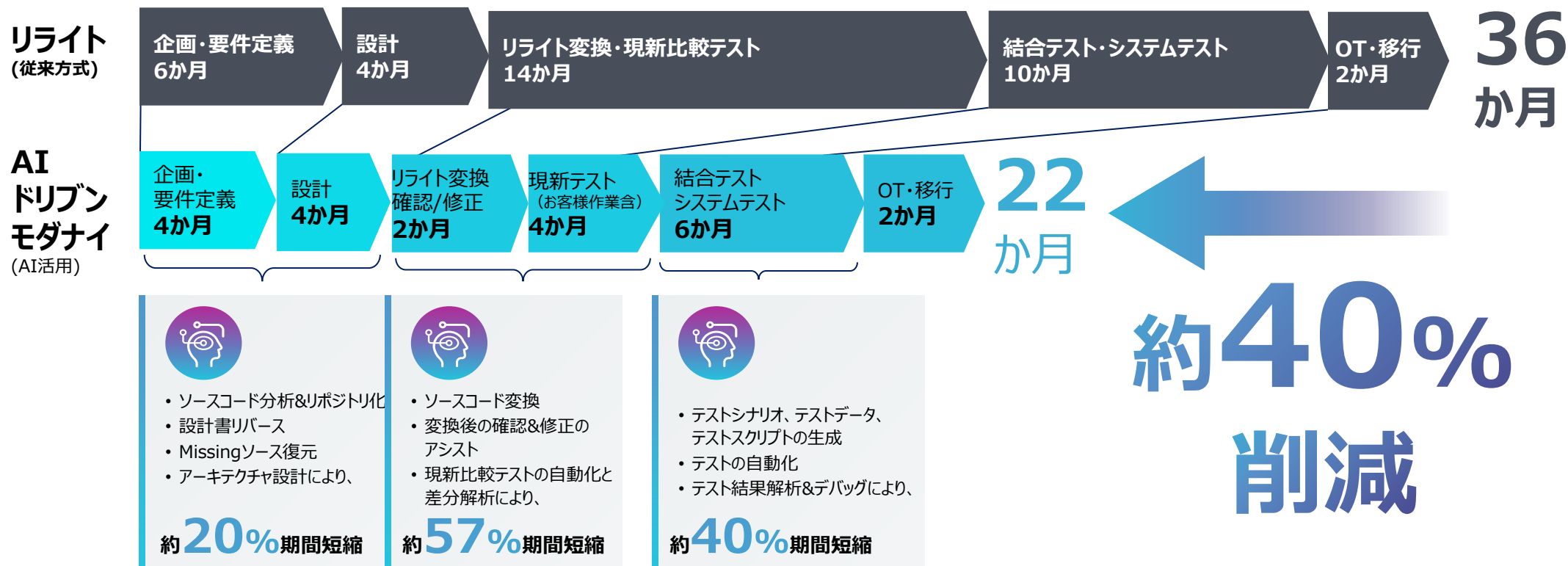
お客様価値

お客様自身がモダナイゼーション、あるいはモダナイゼーション後の維持・メンテを実行するためのAIサービス基盤を順次提供してまいります。

ご参考) 工期短縮イメージ

従来富士通のモダナイゼーション工程と比較し、**約40%の工期短縮を実現**

COBOL → Java のモダナイゼーション工期比較 (リライト)



3. AIドリブンモダナイゼーション 適用に向けたイニシャル商材

お客様課題

- ・モダナイ投資大きく、**対効果の明確化**に悩んでいる
- ・**経営/業務部門**のモダナイPJ参画/牽引意識が弱い
- ・**最適なモダナイ手法**/採用技術がわからない
- ・結果として検討に**長期間、先延ばし**が繰り返されている

モダナイゼーションアクションプランニング with Uvance Wayfinders

- ・推進上の検討アイテム・課題・阻害要因を類型化
- ・類型化FIT & GAP化と、グランドデザイン実施
- ・ROI明確化、経営向け提案推進

製造業様事例

お客様課題

- ・2年間モダナイを独自検討
- ・期待価値曖昧、意思決定に苦慮

富士通のソリューション

- ・将来価値/シナリオの明確化
- ・グランドデザイン/実行プラン策定のご支援
- ・結果、モダナイゼーション計画の経営合意へ



お客様課題

- 現行設計書が不在
- 手元に残っているが、稼働ソースとの一致/整合が不明
- プログラムソースの一部が喪失

設計書リバーササービス Missing Source復元サービス

- 富士通研究所のAI技術を実装
- 人が理解できるに日本語表記での設計書を復元
- レガシー稼働顧客の8割で消失するプログラムソースを独自技術で復元

通信業様事例

お客様課題

- 現行設計書が不在でモダナイが計画できない
- 業務と連動した設計書を確認したい

富士通のソリューション（設計書リバーササービス）

- プログラムソースから設計書を復元
- 日本語表記による正確な業務確認

一般的なAIによる設計書自動生成	Fujitsu Kozuchi 適用時
###処理概要 このプログラムは、固定長形式の入力ファイルを読み込み、各レコードについて特定の条件に基づいて計算を行い、結果を固定長形式の出力ファイルに書き込む。特定の条件には、フィールドの値に基づく動的な計算や定義済み定数の適用が含まれる。 ###入力レコードのスキーマ (項目名) - a4: CHAR(4) - a5: CHAR(20) - a6: DEC FIXED(7) - a7: CHAR(1) - a8: CHAR(1) - a9: CHAR(2)	###処理概要: このプログラムは、従業員の入力レコードを読み込み、特定の条件に基づいて計算を行い、結果を出力レコードに書き込む。計算には、従業員の役職や特定のスコアが考慮される。 ###入力レコードのスキーマ (項目名): - 従業員番号 (a4) - 名前 (a5) - 基本給 (a6) - 種類1 (a7) - 種類2 (a8) - コード (a9)

お客様課題

- ・ブラックボックス仕様、**確認リスク**高く手を付けられない
- ・長期稼働の結果、移行すべき**対象資産・データが不明**
- ・アプリケーション毎の**移植難易度が不明**

資産分析サービス

稼働資産分析 / ソフトウェア地図分析 /
類似分析 / 移行難易度調査 / Missingソース復元

- ・富士通研究所開発技術を実装、600社の実績
- ・未稼働・重複資産を明確化
- ・断捨離・スリム化により、モダナイコスト低減へ
- ・消失したプログラムソースを独自技術で復元

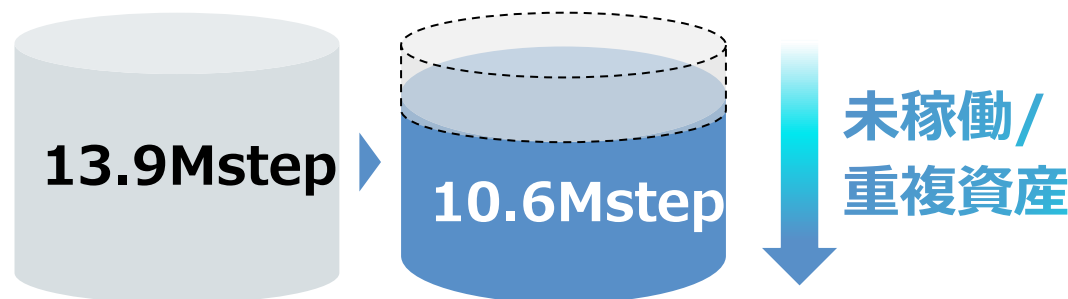
金融業様事例

お客様課題

- ・アプリ資産の稼働状況が掌握できない
- ・スリム化によりコスト低減を図りたい

富士通のソリューション

- ・未稼働資産/類似資産を抽出
- ・**25%が不要資産であることが判明、**
断捨離によりモダナイゼーションコスト減実現



4 . Appendix

- 社外向けの公開サイトには、今後さまざまな情報を順次掲載予定です。



<https://www.fujitsu.com/jp/services/modernization/rewrite/02/>

Fujitsu AIドリブンモダナイゼーションサービスとは

AIエージェント連携により、モダナイゼーションの高度化・短工期化を実現し、企業変革を加速

「Fujitsu AIドリブンモダナイゼーションサービス」は、最先端AIと当社の実践知・専門人材を組み合わせ、モダナイゼーションの高度化とスピード化を実現するサービスです。



01	モダナイゼーションの自動化 - 品質とスピードを同時に最大化 - 大規模移行の工期を約40%短縮	02	マルチAI型モダナイゼーション - 最先端AIを最適編成 - AI選定・運用負荷から解放
03	ナレッジドリブン型モダナイ - AIが当社数千規模のプロジェクト知見を学習 - ナレッジ活用モデルにより再現性・信頼性・確実性を向上	04	自走化サービス基盤（順次提供） - お客様自身のAI活用を支援 - 継続的な改善サイクルを実現し企業価値向上へ

2

© 2026 Fujitsu Limited

モダナイゼーションマイスターのご紹介

モダナイゼーションに関する高度な技能や専門的な知識、豊富な経験を持ち、
現場で実践できるプロフェッショナル集団



知見をプロジェクトに展開できること

- ーモダナイ商談・実行のプロフェッショナルとして、安心・安全に遂行し、プロジェクトを成功に導く
- ーDXを見据えたモダナイの水先案内人として、あるべき手段・実現できる手段を示し、実行する



モダナイのあるべき姿を広い視野でプロジェクトに提案できること

- ーお客様の真の思いを引き出し、将来のビジョンや方向性を描き、実現する
- ープロジェクトの道筋を示し、計画的・段階的・継続的に実行する



問題解決力、コミュニケーション力を発揮してプロジェクトを推進できること

- ー成功事例を共有し、また幅広い知見からリスクを早期に検出し、現場の課題解決を行う
- ー他チーム含め、保有する高度な見識を持つ部門と協調し、商談・アフター体制を組成する(コーディネータ機能)



最新技術動向への対応力を持ってプロジェクトを誘導できること

- ーToBeにおいて適切な最新技術を採用し、ビジネス価値・アジリティを向上する
- ー新技術にも積極的にチャレンジし、自己研鑽に努め、周囲のメンバーのスキルアップに貢献する



脱レガシーを促し、モダナイビジネス拡大を牽引すること

- ーホスト/UNIXの終息に向けて、市場に対する富士通の責任を果たす為に、マイスターがプロアクティブに商談に参画する

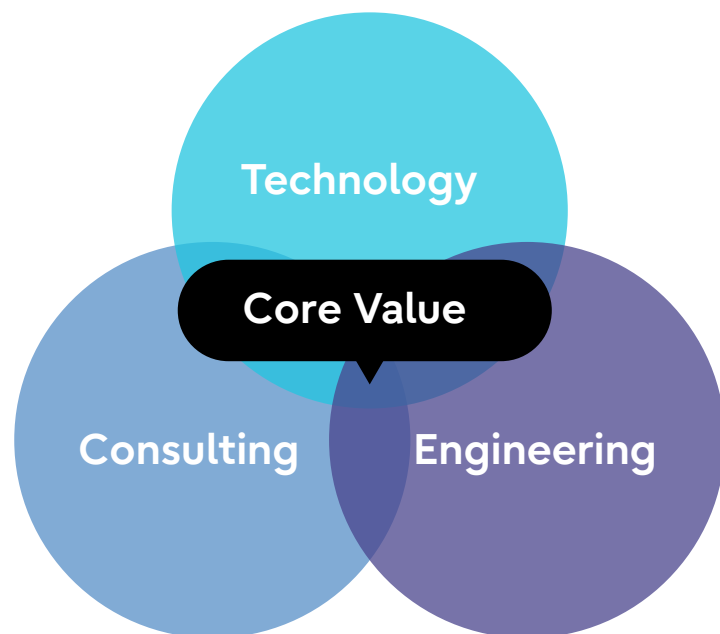
モダナイマイスター



保有経験・スキルに応じた新たな人事制度を適用し、
専門エンジニアを採用・育成

[ご参考\)2024.07.23 日本経済新聞 ITシニア人材、「25年の崖」で主戦力](#)





レガシー技術からDX推進まで、幅広い技術と知見、 そして豊富な経験を持ち合わせた専門エンジニア集団

モダナイゼーションマイスターは、レガシーからクラウド・AIまで幅広い技術に精通し、技術力・エンジニアリング力・コンサルティング力を兼ね備えた専門家集団です。

お客様が抱える不安には先回りして対処し、発生する課題にも迅速に対応しながら、計画策定から移行・定着まで、技術だけでは成し得ない“理解・判断・実行”のすべてを支え、モダナイゼーションの成功までEnd to Endで伴走します。

Technology

幅広い技術力

レガシー技術（メインフレーム、UNIXなど）と最新技術（クラウド、AI、モダナイゼーションツール）双方に精通しています。

Consulting

コンサルティング能力

モダナイゼーションの広範な知識を活かして、お客様のDX実現に向けた最適なモダナイズ戦略を策定します。

Engineering

エンジニアリング能力

これまでの豊富な経験を基に、現実的な移行計画の策定、開発プロセスの設計・実行をサポートします。

モダナイゼーションに関するご相談・お問合せは
こちらにお願い致します

モダナイゼーションイベント事務局

・e-mail : contact-fjpp-moder@cs.jp.fujitsu.com

Modernization

Leap Now

さあ、今こそ飛び越えよう その先へ

Thank you